

クレジット:

UTokyo Online Education 東大FFP 2020 栗田 佳代子

ライセンス:

利用者は、本講義資料を、教育的な目的に限ってページ単位で利用することができます。特に記載のない限り、本講義資料はページ単位でクリエイティブ・コモンズ 表示-非営利-改変禁止 ライセンスの下に提供されています。

<http://creativecommons.org/licenses/by-nc-nd/4.0/>

本講義資料内には、東京大学が第三者より許諾を得て利用している画像等や、各種ライセンスによって提供されている画像等が含まれています。個々の画像等を本講義資料から切り離して利用することはできません。個々の画像等の利用については、それぞれの権利者の定めるところに従ってください。



DAY5 まとめ & 模擬授業検討

2020.06.4,5

目次

1. はじめに
2. 模擬授業検討
3. 休憩
4. 学んだことのまとめ
5. ポスターツアーとは
6. まとめ

はじめに

復習

「学生の学び」を促すために、シラバスは「○○
まではできるけど、△△はできない」ということ
を挙げてください

=シラバスでできること・できないこと

https://forms.gle/7DUu42TEJDo*****

模擬授業検討

模擬授業の位置づけ

学びの振り返り

キャリアパス

モチベーション

高等教育の現状

シラバス・コースデザイン

クラスデザイン

模擬授業

アクティブ・ラーニング

授業改善



目的と到達目標

目的

模擬授業の目的を理解し、検討を行うことで、よりよい実践につなげる

到達目標

1. 模擬授業を行う意義を自分なりに説明できる
2. 模擬授業を検討し、「良い模擬授業」をつくる観点をみつけられる

なぜ模擬授業を行うのか？

- 模擬授業：擬似的な授業実践
- 日本で行われているFFPと同種のプログラムには全て模擬授業の実施が含まれています
- なぜ模擬授業を行うのでしょうか？

意義

- これまでの知識やスキルを実践に活かす
- 他者からの多角的な評価を受ける

よい模擬授業に向けて

- 導入-展開-まとめ の流れで構成
- 主体的に学んでもらう工夫を1つ以上必ずいれ、
一方向にしない
- そのトピックへの興味・関心をひく
 - 問いのたてかた
- 学んでもらいたいことの本質を伝える
 - 無駄を削ぎ落とす

模擬授業検討における留意点

- 3K
 - 敬意をもって忌憚なく建設的に
 - ここをこうしたら、もっと良くなるという助言に
- 今後の授業づくりにおいて気をつけるべきこと、というメタな視点獲得

本日のスケジュール

模擬授業の検討手順

- 模擬授業披露 (6分)
- 個人でフィードバックシート記入 (4分)
- ディスカッションの指針提示(3分)
- グループで改善点ディスカッション (13分)
- 全体講評 (5分)

以上を2名分行い、その後にwork2

- グループでメタ視点考える (10分)

休憩

重要な連絡事項

- DAY7 (7/9 or 10) に来られない人はいますか？
 - 必ず別曜日 (木⇔金) に振替えてください
 - いずれも出席できない場合は録画提出とします

次回までの課題

- 授業をデザインし、実施できる状態にしていくこと
 - zoom投票機能、ブレイクアウトは使えません
→挙手、google form, slidoなどで対応
 - スライドについて下記を必ずみておくこと
<https://tsutawarudesign.com/>

学んだことのまとめ

今回の位置づけ

REVIEW

高等教育の現状

シラバス・コースデザイン

模擬授業・クラスデザイン

アクティブ・ラーニング

授業改善

コース

目的
目標

クラス

目的
目標

内容

評価

内容

評価

評価

目的と到達目標

目的

FFPで学んだことを思い出して整理し定着をはかる

到達目標

1. 各セッションで学んだ重要だと思うことを自分のことばで説明できる
2. グループでスライドを作成し、（オンライン）ポスターツアーによってシェアすることで、学んだことを今一度整理できる
3. （オンライン）ポスターツアーの手続きを体験し、手順をたどって説明できる

方法

- 本プログラムで学んだことについてグループでテーマを分担し、ポスターツアーという方法を使って復習を行います
- テーマ
 1. モチベーション・アクティブ・ラーニングの方法
 2. クラスデザイン
 3. 評価
 4. コースデザイン
 5. 模擬授業検討から学んだこと・FFPの授業からメタ的に学んだこと

方法

- (個人) その**テーマ**について**最も学んだことを2つ以上**思い出し, 「ふせん」1枚に1つずつ書き出してください。(3分)
- (グループ) 書き出したことを手がかりにしながら、ふせんや各到達目標を参考に各テーマについてまとめたスライドを作成します。(20分)
 - 役割: あいうえお順 4番目の人が司会
 - 1番めの人
がふせん整理
(あるいは得意な人)
 - ふせんやテキスト、囲み枠等を使いわかりやすく
 - 概念は具体例などを挙げて説明すること

**全員がスライドについて2分間で
説明できるようにしておきます**

方法 (ツアー)

1. **(グループ再編成)** 各グループ、あいうえお順に名前の前に番号を追加→再編成
2. **(ブレイクアウトへ)** **slide_スタートへ全員が集合。**
互いに自己紹介 (2分) あいうえお順
3. **(ブレイクアウトのままツアー開始)** **説明(2分)&コメント (2分)** 新グループで, ツアー. 自分の作成したスライドを説明. 追加事項やコメントを適宜追加
4. **(もとのグループ 5分)** **元のグループに戻り、説明に対するコメントやフィードバック共有**

スライドのまわりかた

- 全員が「slideスタート」に集合
 - まず相互に自己紹介：あいうえお順
- スライド1 2 3 4 5 の順にまわる
 - スライド作成者が説明
- 1スライド4分（説明 2分コメント 2分）

(本来の)ポスターツアーとは

ポスターツアーとは

1. ポスター作成グループでの作成作業
2. ポスター作成グループから一人ずつ出る形で、ツアーグループを再編成
3. 全てのポスターをツアーグループでまわる。各ツアーグループにおいて、作成者が作成したポスターをそれぞれが説明
4. ツアーが終わったら、ポスター作成グループに戻り、ツアーでまわった際のフィードバックなどを共有
5. 全体で共有

<https://www.utokyofd.com/?mov=kn-11>

考えてみましょう

- 通常のポスター発表（グループでポスターを発表し、グループ代表が全員に対して発表をする）とポスターツアーの比較を行って特徴を把握してください。

まとめ

目的と到達目標

目的

模擬授業の目的を理解し、検討を行うことで、よりよい実践につなげる

到達目標

1. 模擬授業を行う意義を自分なりに説明できる
2. 模擬授業を検討し、「良い模擬授業」をつくる観点をみつけられる

目的と到達目標

目的

FFPで学んだことを思い出して整理し定着をはかる

到達目標

1. 各セッションで学んだ重要だと思うことを自分のことばで説明できる
2. グループでスライドを作成し、（オンライン）ポスターツアーによってシェアすることで、学んだことを今一度整理できる
3. （オンライン）ポスターツアーの手続きを体験し、手順をたどって説明できる

デザイン

- 模擬授業の検討会
 - 全員が同一の模擬授業を検討する
 - 多角的な観点の獲得
 - じぶんごとへ
- まとめ
 - アクティブラーニングの技法体験

課題

- 6分間の模擬授業を制作
- 対象：初年次
- 内容：6分のミニチュア授業（1トピック）
- 使える技法：挙手、チャット、Google Forms
反応、画面共有におけるコメント
- 前回の資料をよく読むこと
- 「伝わるデザイン」のサイトをみておくこと
- 当日朝10時までに、クラスデザインシート提出
 - 提出先はGoogle Classroom

参考文献

- 栗田佳代子・日本教育研究イノベーションセンター編（2017）「インタラクティブ・ティーチング」河合出版
- 東京大学 大学院総合文化研究科・教養学部 附属教養教育高度化機構アクティブラーニング部門（2015）「効果的なピアレビューの方法」AL NEWS LETTER 3 (1) 2-3. <http://dalt.c.u-tokyo.ac.jp/download/>
- グッドプラクティス
<https://utelecon.github.io/good-practice/>